

## AIの得意を活かす業務適用の第1歩【オンラインライブ】 (4124014)

賢くなったAI技術を「ビジネスにどう使うか」を、実事例に基づいてご紹介します。さらに、現時点のAI技術で出来ると考えて良いこと、まだ実現が難しいこと、従来のシステム開発と比較して注意が必要な点等を、使う側の立場に立って解説します。また、後半はPCを使った演習形式で、基礎的な技術を習得していただきます。なおAIの具体的な実装方法（プログラミング）については対象としません。

開催日時	2024年10月31日(木) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	データ・AI活用・技術動向(AI・新技術 検証)
カテゴリ	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 <b>専門スキル</b>
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術): デジタル技術
講師	笹尾和宏 氏 (日鉄ソリューションズ株式会社 技術本部 システム研究開発センター インテリジェンス研究部 主席研究員 博士(工学)) 2003年3月東北大学博士後期課程を修了後、新日鉄ソリューションズ(現・日鉄ソリューションズ)に入社。 システム研究開発センターに所属し、金融分野、産業分野など様々な業種に対して業務向けアプリケーション開発に関する技術開発に従事。 2007年より拡張現実感(AR)のビジネス適用に向けた研究を開始し、以降、多数のお客様とともに実証実験等を通じてビジネス化を推進。 2021年よりAI, IoTを活用したアンビエントコンピューティングの事業適用や大学の非常勤講師などを務め、現在に至る。博士(工学)。
参加費	J U A S 会 員 / I T C : 35, 200円 一般 : 45, 100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	情報システム部門若手・配転者の方、システム企画担当 <b>中級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	<ご準備いただくもの> ・外部Webサイトへのアクセスが可能で、Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint) が動作するPCでご参加ください。
ITCA認定時間	6

### 主な内容

#### ■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) 【[セミナーのオンライン受講について](#)】

#### ■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

#### ■開催日までの課題事項

事前課題

※詳細はセミナー開催7日前を目途にお知らせします。

#### <ご準備いただくもの>

・外部Webサイトへのアクセスが可能で、Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint) が動作するPCでご参加ください。

・演習にて、実際に貴社でAIを導入するにあたっての課題・疑問に当てはめながら進めていきます。

開催1週間前をめどにAI導入を検討するためのワークシートを送付いたしますので、

貴社事例に当てはめていただけますと、効果的にセミナーを受講いただけます。

(参加者全体で実際の貴社事例を共有することはありませんので、ご安心ください。)

詳細はセミナー開催7日前を目途にお知らせします。

#### <本セミナーのゴール>

- ・現在のAI技術で何ができるか、あるいは、まだ難しいかを理解する
- ・AIを業務で活用していく上で必要となる一連の概念やタスクについて理解する

#### <内容>

##### 1. AI技術の今

- ・最近のAI動向
- ・機械学習・深層学習（ディープラーニング）
- ・サービスとして利用可能なAI
- ・今できること、まだできないこと

##### 2. AI事例のご紹介

- ・画像解析
- ・作業分類
- ・自然言語処理
- ・オフィスでのロボット活用等

##### 3. 機械学習の基礎

- ・用語
- ・数学の基礎
- ・機械学習の基本的な考え方

##### 4. AIシステムを社内開発あるいは外注するために

- ・法律・ガイドラインの活用
- ・プロジェクトの進め方
- ・データの収集、加工
- ・学習と評価
- ・人を対象としたデータの取り扱い
- ・性能を維持し続けるために

##### 5. まとめ

\*本セミナーは「リアルなAI使いこなし術（概要編）」「リアルなAI使いこなし術（実践編）」を合わせて内容改変したセミナーです。

#### <<受講者の声>>

- ・AIに関して、期待していた基本的な知見が得られた。  
AI導入に向けた足掛かりを得られた。
- ・AI開発のアプローチが理解できた。
- ・基本から最新の状況も学ぶことができた。